

鎌倉 ハートナーズ



第52号 平成21年(2009年)9月発行(季刊)
鎌倉市市民活動センター広報紙

目 次

鎌人いち場	P 2	ミニコラム・フォーラム報告	P 6
NPO センター関係事業報告	P 3	情報コーナー・相談Q&A	P 7
高校生のボランティア体験	P 4	センターからのお知らせ	P 8
登録団体見て歩き	P 5	— お知らせ版・イベント情報版 —	



(鎌人いち場)



7月12日(日)鎌倉由比ガ浜の海浜公園にて「鎌人いち場」が開催されました。

「鎌人いち場」は昨年5月に開催された「かまくら市民活動の日フェスティバル」において『NPOセンター設立10周年記念事業』の公開ミーティングで立ち上がった団体(仮称 鎌倉市場)が中心となり企画されました。NPOセンター運営会議も実行委員のメンバーです。

モノの行き交う「市場」、気持ちが行き交う「広場」、情報が行き交う「情報発信の場」の3つの場から成り立っている現代版市場。どんな交流があったのでしょうか。

バザーで珍しいものや人に会えた時、私たちは幸せを感じます。新しい世界との出会いがそこにあります。日ごろ関心のあった「びわの葉温灸」。鎌人いち場は、私にその出会いを与えてくれました。生のびわ葉ともぐさを使って体を温める病気予防と痛み除去の優れた処方。これが機となり、講習会に参加。びわの葉の効用に驚嘆しているこの頃です。庭のびわで健康になれるとは！びわの木に感謝。あの日、鎌人いち場に行ってよかった！（中山）



おだやかな天候のもと開かれた「鎌人いち場」は出店者、来場者ともににぎやかで、午後、2時を過ぎても来場者が絶えませんでした。「タウン誌で見ました」「新聞で見ました」「友だちが出店しているので」・・・との声が聞かれ、鎌人いち場への市民の期待を感じました。（聖子）

鎌人いち場 (かまんどいちば)

私は父と母といっしょに鎌倉海浜公園の「鎌人いち場」に自転車で行きました。

いちばでは、乗馬ができます。また、馬ににんじんをやることもできます。

馬は白色とこげ茶色が入り、私は白色の馬ににんじんをやってから乗りました。馬には脚立で乗ります。馬が歩くとゆれるのでくらにたまりません。

乗ると海が見えて、潮風が顔に当たるととても気持ちがよかったです。いままでポニーに乗ったことしかなかったので馬の高さが気に入りました。（鎌倉市立小坂小学校4年 山崎）



フリマ、ワークショップ、食べ物屋さん。何でもアリ！という雰囲気は他では味わえないものでした。参加者もお客さんもマナーが良く、お天気も最高で気持ちがよかったです♪。回を重ねてどう進化していくのか、楽しみです。（吉川照美）



馬にのりました。私は白い花のかみかざりをつけていたので白い馬を選びました。イキがぴったりでした。そのあと、粘土づくりの所で、白い馬を作り部屋にかざりました。

タイコもたたきました。お兄さんたちがたたき方を教えてくれ夢中になっていたら、まわりに人がいっぱいいました。タイコにかぶせてあった動物の絵のカバーをいとこのみゆとかぶり遊びました。おもしろかった。（はるな）



次回の開催日
10月18日(日)

実行委員募集！！

みんなで創る「鎌人いち場」を盛り上げてくれるメンバーを募集します。貴重な体験ができる実行委員会。週1回程度NPOセンター鎌倉で活動します。あなたも参加しませんか。

問合せ：<http://kamandoichiba.com>

ぼんぼり まつり

8月1・2日の両日、御成商店街の「ぼんぼり祭り」が開催されました。会場は、フラダンス、サンバパレード、ミニライブ等の催し物で盛り上がる中、運営会議も、毎度お馴染みの「似顔絵」・「バルーンアート」に加え、スタッフによる「きらくるレインボー」「恐竜のたまご」の作り方教室、鎌倉野菜の販売など多彩な趣向で参加しました。

「きらくる…」「恐竜の…」の教室にはたくさん子どもたちが並び、清涼をはこぶ「冷やしきゅうり」、「冷やしトマト」(鎌倉野菜)の販売コーナーは、ヨーヨー片手の子どもたちから、ビール片手のお父さんまでたくさんの人で賑わいました。

数回にわたる雨にもめげず、楽しいお祭りでした。来年もお待ちしています。(平塚 優 記)



利用登録団体懇話会

毎年、年2回開催される利用登録団体懇話会の第1回目が、7月18日(土)15時よりたまなわ交流センター一会議室で行われた。

参加者は20団体、48人でした。NPOセンターの活動状況報告、研修部会、財政部会、広報部会からの講習等のお知らせの後、「鎌倉げんきかい」「EM ネット神奈川」「輝き・遊っ子楽っ子」から活動報告がありました。その後、4グループに分かれ、「登録団体同士の連携、強化」をテーマに討議・意見交換が行われました。有益な意見が多く出され、今後に生かしていくことになりました。

17時からNPOセンター大船で交流懇親会が開かれ、親睦が深まりました。(唐島 信也 記)



心配された雨も朝にはすっかり上がり、市役所の花壇前の広場は入りきれないほどの参加者であふれました。健康のために歩かれる方がこんなにいらっしやるとは!!「鎌倉歩け歩け協会」と「センター運営会議」が協働で企画した「谷戸めぐり(12キロコース)」は260名の参加がありました。運営会議からは岡野理事長、渡邊事務局長が参加しました。「歩きなれた方たちと一緒に歩いたので疲れも感じず、心地よい3時間でした」と事務局長の言。

次回は9月26日(土)に開催

「鎌倉歴史絵巻の道」(13km)

集合場所：大船駅モノレール広場

受付時間：8時20分～8時50分

※詳細はNPOセンターにお問い合わせください。

「市民活動団体と鎌倉市による協働事業」に応募のあった団体の提案について6月20日(土)に公開プレゼンテーションが開催されました。

審査の結果、次の事業を提案した団体が鎌倉市との協議に入ります。

<市提案協働事業>

「WE LOVE 若宮大路」事業：鎌倉市政を考える市民の会、NPOかまくら緑の会

<市民活動団体提案協働事業>

「地デジ普及活動事業」：特定非営利活動法人 鎌倉シチズンネット

「玉縄民俗資料館のリニューアル事業」：玉縄城址まちづくり会議

報告

7月28日
8月3日

高校生の「ボランティア」体験学習活動

平成21年度高校生のボランティア体験学習活動に、県内在住・在学の高校生15名からの申込がありました。7月28日の第一日目は、鎌倉市社会福祉協議会事務局長・鎌倉市市民活動センター運営会議事務局長の開会挨拶から始まり、オリエンテーション・福祉講座等が行われました。

二日目以降、希望に応じて児童福祉施設・高齢者施設・NPO登録団体に分かれて、体験学習活動が行われました。最終日には各グループ活動の発表・報告があり、その後一人ずつ感想を書きました。

感想



「デイ西かま」

初めは介護施設は暗く静かなイメージを持っていたのですが、実際はそんなことなく、スタッフの方も利用者の方も皆さん明るく、とてもお話好きで、笑顔がいっぱいでした。二日間の経験を通して、逆に私たちの方がたくさん元気をもらいました。

最後のお別れの時に利用者さん達が「高校三年生」を歌って下さりとても嬉しかったです。

「特養鎌倉静養館」

お年寄りの介護という仕事は、すごく大変だと思います。しかし、私は介護という仕事を体験し、大変だったこともありましたが、お年寄りの方の「ありがとう」という一言がすごく嬉しかったです。その一言で私はもっと何かできることはないかという考えにつながりました。

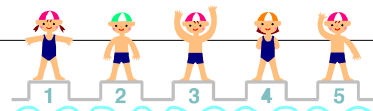
施設に行き、いろんな人と出会い、コミュニケーションをとり、感謝される。こんな嬉しい体験はもう出来ないと思います。この体験を生かし、今後、人と関わる仕事につきたいと思います。



「寺分保育園」

自分が思っていたよりすごくハードで疲れましたが、子どもたちの笑顔に元気をもらい、楽しく自分にとって充実した二日間になりました。子どもは素直で言われたことに文句も言わず仕事をこなしていて、自分も負けられないと別の力をもらった気がしました。

この二日間、子どもたちに感謝感激です。



登録団体見て歩き

豆腐川の自然を守る会

「豆腐川の自然を守る会」は、2007年に材木座6丁目での宅地開発でその中を流れる鎌倉市の豆腐川を暗渠化し道路にする編入同意に反対する運動の中で発足しました。

この暗渠化により、30～40種もの野鳥が飛び交う幹周り3mの榎などの豊かな植生や、土手、石組みがなくなり、綺麗な水環境で生息していたカワニナ等の水生生物、特にアカテガニの生育環境がなくなる結果となりました。反対運動の中で神奈川県開発審査会への審査請求、鎌倉市への住民監査請求が行われましたが、工事が完了している、請求人の適格性に疑問がある、環境は請求になじまない等の理由で却下処分となったそうです。

材木座6丁目周辺は別荘や保養所が多くあった地域で、その跡地のミニ開発が多く行われているそうです。対象地域の多くは第2種風致地区及び歴史的風土保存区域であり、森林法の保安林が含まれている土地もあります。

同会はこれ以上、維持すべき環境を破壊するような開発、建設が「鎌倉市開発事業手続き基準条例」(略)に違反していないかを各会員においてウオッチし、行政、事業者等に指摘する活動を続けているそうです。

又、環境維持の大切さを次代の担い手の子どもたちに理解してもらうために毎年「アカテガニの観察会」を行っているそうです。2007年の参加者は約20名、2008年は約30名だったそうですが、今年の8月7日の満月の夜に行われた観察会は、約50名の参加がありました。

講師は川海環境、生物が専門の二人の方に依頼したそうです。子どもたちは暗渠化された道路では自然環境の維持の大切さの話聞き、河口近くでは生息しているアカテガニを観察し、河口でのアカテガニの放仔行動の観察では、親のカニがブルブルと身体を振るわし子ガニを放つ行動を見て歓声を上げていました。(M.H)

連絡先：TEL/FAX 0467-22-4978 鎌倉市材木座6-10-6



NPO はじめまして、美術館。

アート、子育て支援、コミュニケーションづくりのそれぞれのスペシャリストが、親子で美術館を楽しみたいと思う人たちを支援する。そんな活動を展開しているのが「NPO はじめまして、美術館。」です。美術検定一級を持ったアートナビゲーターをはじめとして、美術や子育て、保育の専門知識を持った個性ゆたかなスタッフが親子をサポートします。

「NPO はじめまして、美術館。」がこの夏企画したプログラム「はじめまして、美術館。」は、3回シリーズで美術や美術館とそのマナーについて楽しみながら学ぶもの。1回目、まずは大人が美術館をゆっくり堪能します。学芸員の方から展示物の解説を聞き、子どもと一緒に美術館を訪れる時に気になっていたことなどを話し合います。2回目は紙芝居や美術館の作品カード遊び、造形遊びを通して親子それぞれに鑑賞のマナーやヒントを学びます。3回目は、いよいよ親子で美術館を訪問します。

8月4日、『神奈川県立近代美術館 鎌倉別館』に集まったのは5歳から7歳の子ども達とお母さんなど16名です。

親子で、前もって選んでおいたお気に入りの絵を当てっこすることから始まりました。子どもたちは全身を研ぎ澄まして作品を感じます。絵を前に親子の会話が弾み、微笑ましい風景となりました。

代表の氏川さんは「小さな子ども連れでの美術館訪問をためられる親子は多いと思いますが、小さな子どもにも芸術が語りかけてくる力は伝わります。マナーやちょっとしたコツをつかめれば十分楽しめるはず」とおっしゃっていました。活動費の捻出は、やはり難しいとのこと。ボランティアで企画に参加されているスタッフの皆さんは「この活動に興味があって、勉強もできるので続けられます」と話されました。(M.N)

連絡先：090-6260-0277 (氏川)

<http://zok.air-nifty.com/kodomobijutsu/>



地域づくりと課題解決型市民活動

高齢化の進んだ地域・西鎌倉で、私が市民活動を始めたのは1984年であった。住み慣れた街で暮らし続けたいと考えた地域の仲間58人が集まり、まず、第一に始められた活動は困った時は気軽に声をかけてと無償の助け合い活動であった。鎌倉市社会福祉協議会に地域のボランティア活動団体として登録し、子ども会や老人会と同じように活動エリアの自治会に認められた団体として活動してきた。発足当初から会員たちで考えた方針は、常に自立した主体的な活動をしたいということであった。自治会からの補助金を貰わず、バザーをして活動資金を創り出し、自ら学習や話し合いを重ね、試行錯誤を繰り返して活動してきたことであった。その活動は自分たちの活動資金を調達するだけでなく、活動の場を確保するために自治会館建て替え運動へと発展した。食事サービスのための厨房設備の費用を自治会へ寄付するなどの活動を展開してきた。25年間続いてきた活動は、常に地域住民が抱える高齢化の問題を同じ地域に住む仲間の問題として考え、暮らしの中の生活課題の解決へ向けて行動してきた。高齢者とのふれあい活動や有償・無償の助け合い活動、週1回の昼食の配食サービス等々を実現し、現在も会館を活動の場として、市民活動が行われている。

今、地域の中では様々な生活課題が生まれています。坂道の多い鎌倉の住宅団地では、医療機関への通院や買い物に困っている人々や認知症を介護する世帯や閉じこもりがちの高齢者世帯など地域での助け合いや支え合いを必要としている人々が大量に生活しています。

今年の市民活動フェスティバルのテーマは「手をつなごう地域とNPO」でした。一人ひとりが地域社会を担う一員として、主体的に地域について考え、テーマ別に活動する鎌倉のNPOの皆さんが、暮らしの足元の課題を見つめ直し、生きがいを持って暮らせる地域社会の実現へ向けて、積極的に地域づくりに参加して下さることを期待しています。地域の中の生活課題を解決するために、町内会ごとにかくさんのNPOが連携して活動できれば、さぞかし暮らしやすい地域になるのではと夢を膨らませています。

(NPO法人かまくら在宅生活相談センター・デイ西かま・デイ西かま憩いの家 樽井彰子)

NPO フォーラム「子どもを犯罪から守るために！」を開催して

7月4日(土)午後2時から鎌倉市役所第三分庁舎講堂で「NPO フォーラム」が開催された。会場は100名を超える出席者であふれんばかりだった。石渡市長より「市内の犯罪は漸減しているが引き続き地域ぐるみの防犯活動が行われている。特に子どもへの防犯に留意している」との挨拶があった。大津代表(犯罪から鎌倉を守る会)の基調講演は、「地域の子どもは、地域で育てる」という地域ぐるみの取り組みをして、少年犯罪を減少させた鹿児島市の「郷中(ごじゅう)教育」の紹介、長崎市で起きた駿ちゃん殺人事件、奈良市の児童殺人事件のような幼児の誘拐・殺害事件の具体的な説明があり、最近多い少年犯罪について防犯の地域活動の重要性が強調された。次のいずみ幼稚園園児による防犯実演では、怪しい人から声をかけられた時“イヤダ!”と大声をあげての拒否、石のように身体を丸くしての防御が可愛らしく、懸命に演じる姿に会場が沸いた。

パネルディスカッションは手広中学校齊藤校長、西鎌倉小学校中野校長、西鎌倉地域教育懇話会青木会長、西鎌倉山防犯を考える会小早川元会長、西鎌倉住宅自治会手島会長、新鎌倉山自治会石丸前会長の各氏から西鎌倉地域の「幼稚園からお年寄りまで」と教育現場と地域の人々との交流(柞の森等)、登校・下校時に合わせての見守りパトロール、防犯ステッカーの貼り出し、挨拶運動等「学校と地域による協力」により防犯効果を上げているそれぞれの活動が熱く語られた。市内でも多い方だった犯罪の減少の成果は出席者にも強い印象を与えた。「地域との協働での人づくり」、「地域の安全は地域で守る」ことの認識を共有して盛会のうち4時過ぎに閉会した。(研修部会 吉川 昇 記)



情報コーナー

助成金情報

NEDO 技術開発機構(新エネルギー等非営利活動推進事業)：非営利で行う新エネルギー導入や省エネに資する普及啓発活動への助成で、平成22年2月まで募集中。

かながわボランティア活動推進基金(ボランティア活動奨励賞)：地域への貢献度が高く、他のモデルになる活動を行っている団体や個人が対象で、募集は10/1～11/15。

積水ハウスマッチングプログラム(子ども基金、環境基金)：10～12月に募集の予定。募集要領発表次第、HPに掲載します。

☆「市民活動に活かす助成金取得ガイド」という図書を購入しました。初めて助成金を申請しようとする場合の手引書です。

☆NPO かまくら緑の会☆

若宮大路のクリーン活動と花の手入れ

活動日：毎月第2木曜日・第3土曜日 10時～12時
場 所：若宮大路(二の鳥居～下馬間)
服 装：活動しやすい服装
問合せ：0467-23-2530(高柳)

☆関谷川をきれいにする会☆

関谷川清掃活動

活動日：11月8日(日)9時半～11時
場 所：新風台住宅地、信号突当りの関屋川付近に集合
服 装：クリーンデーの服装
(道具、手鎌持参、川に入れる方は長靴持参)
問合せ：0467-47-4712(柳澤) kimi.yanagisawa@nifty.com

ボランティア情報

☆鎌倉市高齢者給食サービスグループ連絡協議会☆

調理と配達担当者募集

活動日：グループにより異なるが週に1～2回
月、火、水、木曜日の13時～16時

場 所：御成町在宅福祉サービスセンター
腰越・玉縄・深沢学習センター
持ち物：調理担当者はエプロン、三角布、配達や
買い出し担当者は自動車をご用意ください
問合せ：0467-47-5689(植田紀子)

相談 Q&A

法人格の取得について

Q:法人格のないボランティア団体でも簡単な手続きで法人格の取得ができるようになったと聞きましたが？

A:昨年12月に施行された「一般社団法人に関する法律」により公証人による認証と法務局への登記のみという簡便且つ安価な法人の設立が可能となりました。この法人と特定非営利活動法人を比較すると、主に次のような違いがあります。

法人格	一般社団法人	特定非営利活動法人
設立	公証人の定款認証+登記	所轄庁の認証+登記
設立者	社員2人以上理事1名以上	社員10名以上、理事3名以上
事業目的	基本的には自由に定めることができる	特定非営利活動を行うことが主目的である
所轄庁	なし	都道府県又は内閣府
監督・報告義務	なし	所轄庁へ毎年決算書・事業報告提出
税制優遇	原則課税、ただし非営利性の3条件を満たす法人はNPO法人と同じ扱いになる	原則非課税、但し収益事業(34業種)には課税

法人化のメリットとしては、①財産や法的責任が、法人と個人に明確に区分できる ②公共団体からの補助金等が受けやすくなる ③非営利性の3条件を満たせばNPO法人と同じ税法上の優遇措置が受けられる ④対外信用力の向上などがあげられます。

小規模などの理由でNPO法人の設立に二の足を踏んでおられたボランティア団体は、これらの法人化メリットに着目して、法人化をご検討いただくよい機会ではないかと思われます。(同封のセミナー案内をご参照ください)

NPOセンターからのお知らせ

新収図書のお知らせ

～NPOセンター鎌倉～

<図書>

◇「ESD教材活用ガイド」

発行：財団法人 ユネスコ・アジア文化センター
2009年3月

◇「希望への学びあい」

発行：NPO法人 持続可能な開発のための
教育の10年推進会議 2009年3月

◇「BACK TO THE LAND JAPAN」

著者：青野利光 2009年6月

JR 鎌倉駅地下道ギャラリー展への参加について

恒例の「JR鎌倉駅地下道ギャラリー展」が開催されます。市民活動団体の活動紹介をするパネル展です。

参加希望の団体は申し込み用紙に記入の上、NPOセンター鎌倉に提出ください。

開催日：11月26日(木)～12月2日(水)

申込先：NPOセンター鎌倉 (FAX、またはメール)

申込締め切り：10月31日(土)

団体登録の継続について

鎌倉NPOセンターに登録していただいている「利用登録団体」には、お知らせ等を郵送していますが、最近、連絡先不明で返送されるケースが増えています。

活動を休止している団体、連絡先が変更になった団体は速やかにセンターにお申し出ください。

新規登録団体の紹介

★日本ハワイアンカヌー協会：古代ポリネシア・カヌーの建造を通じて日本の海洋文化を再確認し、地球環境への貢献や文化の継承を行う活動

★ブーケ21：フラワーアレンジメントを通じて地域とつながり、社会貢献をする活動

★鎌倉山電磁波問題を考える会：携帯電話基地局周辺の住民の健康被害問題を次世代に残さないよう、根本問題を解決するための活動

★鎌倉ガーディアンズ：イベント型ボランティア団体として、お祭りや行事の防犯パトロール、防犯施策の提言などを行う活動

★岐れ路の会：歴史政治文芸、舞台表現から見た日本を取り巻く状況をテーマに「平和」について学び、外に向かって発信する活動

利用登録団体向け年間行事予定(9月以降)

- ・「広報・チラシの作り方」開催：9月26日(土)
- ・パソコン教室(10期生)：9月～11月
- ・Web講座：9月24日～12月19日
- ・相談部会セミナー：10月26日(月)
- ・NPO支援かまくらファンド審査会：11月3日(火・祝)
- ・JR 鎌倉駅地下道ギャラリー展：11月26日～12月2日
- ・第2回利用登録団体懇話会：H22年1月23日(土)

平成21年9月1日現在 **利用登録団体数:365団体**

お願い 利用登録団体の登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)が変更された場合は速やかにご連絡ください。



発行：鎌倉市市民活動センター
 編集：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議
<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10
 TEL: 0467-23-3000 内線 2655
 TEL/FAX: 0467-60-4555(直通)
 e-mail: npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25
 (たまなわ交流センター 1階)
 TEL/FAX: 0467-42-0345
 e-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp

イベント情報

スクエアダンス初心者講習会

子どもから大人まで愛好されているスポーツ的ダンスです。9月から11月まで、初心者講習会を行います。

開催日時：火曜日：13時から、木曜日：18時から(9～11月)
会場：主に玉縄学習センター(玉縄学習センター分室 他)
講師：吉田美恵子
参加費：3000円
持ち物：上ばき
主催：湘南マリンSDC
後援：鎌倉市教育委員会
問合せ先：TEL 0467-44-8362(石橋)

史都鎌倉ウォークラリー(オリエンテーリングと同日開催)

コース図をたどり、スタートからゴールまで歩きます。当日、現地受付とします。

開催日：平成21年10月11日(日)、12日(月)
受付時間：正午～15時
受付場所：鎌倉生涯学習センター
参加費：成人 1000円 未成年 500円
服装：野外活動にふさわしい服装、水筒・弁当持参
主催：鎌倉ウォークラリー研究協議会
問合せ先：046-871-3638(渡辺シヅエ)

玉縄歴史アカデミア連続セミナー 「玉縄城の遺構を読む」Vol. 4

第1部 玉縄城500年祭実行委員会発会式
第2部 シンポジウム「戦国後北条氏の遺したもの」
基調講演「資料からみた後北条氏一族の暮らし」
鳥居和郎氏(神奈川県立歴史博物館専門学芸員)
パネラー
鳥居和郎氏
山口博氏(高德資料館学芸員)
真鍋淳哉氏(青山学院大学講師)
コーディネーター
伊藤一美氏(NPO法人鎌倉考古学研究所監事)
開催日時：平成21年11月22日(日)13時30分～
会場：清泉女学院 講堂
主催：玉縄城址まちづくり会議
問合せ先：0467-45-7411(事務局 荒井)

いつからでも新しくなれる生活 ～親子の生活リズムと子育てご飯～

なぜ、生活リズムが大切なのでしょうか？
毎日の食事、追われていませんか？
お子さんと一緒に参加してみませんか
開催日：平成21年10月2日、9日(金)10時～12時
会場：大船第一子ども会館
第1回 なぜ生活リズムが大切なのでしょうか？
まず、夕食6時を守ってみましょう
第2回 毎日の食事、追われていませんか？
イライラしないで、毎日の生活を整える工夫やヒント
託児：有り(無料)申し込み制
受託：鎌倉友の会
申込先：TEL/FAX 0467-46-0112(武内)
メール kamatomo16@yahoo.co.jp

鎌倉メサイアシングアロング

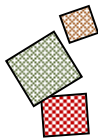
年に1回、ぶっつけ本番でヘンデルのメサイアを演奏する会です。指揮者、独唱者、オーケストラは舞台。合唱者は客席で歌います。

開催日：平成22年1月16日(土) 15時より
会場：鎌倉芸術館 小ホール
音楽監督：家田厚志(指揮者)
主催：鎌倉メサイアシングアロング
問合せ先：TEL0467-31-4956
(鎌倉メサイアシングアロング 山口義人)

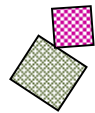
神奈川EM有機農業実践塾

EM(有用微生物群)の生みの親である沖縄琉球大学名誉教授の比嘉照夫博士による講演会

開催日：平成21年11月14日(土)13時～16時30分
会場：鎌倉商工会議所
参加費：2000円
講師：比嘉照夫
主催：特定非営利活動法人 EMネット神奈川
問合せ先：TEL 0467-45-4367(事務局 永井)



NPOセンター（鎌倉市市民活動センター）からのお知らせ



ペットボトルキャップで世界の子どもたちを救おう！



ペットボトルのキャップを資源として活かし、売却益で、世界の子どもたちにワクチンを送る活動に協力し、飲料用のペットボトルのキャップを集めています。

NPOセンターで集めたキャップは収集拠点となっているNPO法人鎌倉リサイクル推進会議（笹田リサイクルセンター内）に届けます。

キャップ400個（1kg）

=

引き渡し価格 21円（H20.7現在）

- ・BCG（結核）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人分約7円（140個）
- ・DPT（百日咳、ジフテリア、破傷風）・・・・1人分約9円（180個）
- ・ポリオ（小児まひ）・・・・・・・・・・・・・・・・1人分約20円（400個）
- ・麻疹（はしか）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人分約95円（1850個）
- ・MMR（麻疹、おたふくかぜ、三日麻疹）・・・・1人分約114円（2200個）

※ワクチン価格はユニセフ・サプライディビジョンによる概算 ※売却益は、時価相場により変動します

センターに収集箱を設置しています。

「広報・チラシの作り方」開催

日時：9月26日（土）13時30分～16時
 場所：鎌倉市役所第三分庁舎
 内容：広報・チラシの作り方
 講師：牟田静香氏
 （NPO法人男女共同参画おおた 理事長）
 問合せ：NPOセンター鎌倉
 ※詳細はNPOセンターHPでご覧いただけます

相談部会のセミナー 開催

実施日：10月26日（月）
 場所：NPOセンター大船
 費用：午前の講座（会計）2千円
 （但し昼食代を含む）
 午後の講座（労務と法人設立）2千円
 申し込み先：NPOセンター鎌倉
 申込み期限：10月15日（木）
 ※申し込み方法、セミナーの内容はチラシをご覧ください
 ※詳細はNPOセンターHPでご覧いただけます

古本をおよせください！！



古本を捨てないことが地域貢献につながります。回収した本は「セカンドブックアーチ」に寄付します。

- 寄付できる本**：単行本、漫画、文庫本、新書、絵本、大学の教科書、辞書、専門書、古書、月刊誌、パンフレット（映画、演劇等）、各種参考書（書き込OK）
寄付できない本：マンガ雑誌、百科事典、汚れのひどい本等
 ※詳細は、センターにお問い合わせください

NPO法人セカンドブックアーチ：湘南地区で古本を集めてインターネットで販売し、あがった収益を公益団体に寄付しています。「運営会議」もファンド資金として3万円の寄付をいただいています。

使用済みインクカートリッジ回収

パソコンの使用済みインクカートリッジの回収をしています。両センターに回収箱を設置していますので、来館の折、回収箱にお入れください。どこのメーカーのものでも結構です。